

施策評価シート

令和 5 年度

総 体 系 計 画	分野	6	第 6 章	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	施策統括課	人権・同和政策課
	施策No.	3	施策名	人権尊重の確立	課長名 (施策統括責任者)	橋本 直史
	関係課	人権・同和政策課 男女共同参画課 学校教育課				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市民は、お互いの人権を侵害することなく、お互いの人権を尊重している。
取組方針	全ての市民が人権についての理解を深め、人権を侵害されることなく一人ひとりが尊重され、ともに支え合い、ともに生きる「共生社会の実現」をめざし、生涯を通しての人権教育・啓発と同和問題の解決に向けた取組を進めます。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	市民						
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	市民一人ひとりが人権を尊重することの重要性を正しく認識し、理解を深める。						
成果指標 A							
人権・同和問題に関心がある市民の割合（女性・子ども・高齢者・障がいのある人・外国人、LGBTsなどへの偏見や差別、インターネットによる人権侵害など）							単位
							%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
55.7	56.0 56.8	56.8 57.7	57.6 57.2	58.4 55.7	59.2 0.0	60.0	
成果指標 B							
人権侵害を受けたことがある市民の割合							単位
							%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
3.3	3.1 2.6	3.0 3.0	2.9 3.7	2.9 3.1	2.9 0.0	2.8	
成果指標 C							
-							単位
							-
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	
成果指標 D							
-							単位
							-
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	
成果指標 E							
-							単位
							-
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	

施策評価シート

3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	32.4%	30.7%	↓
ある程度重要である	44.0%	44.1%	↑
あまり重要ではない	11.7%	10.9%	↓
重要ではない	2.1%	3.7%	↑
順位	31/36位	32/36位	↓

施策の満足度	前回	今回	
満足している	4.6%	4.2%	↓
どちらかといえば満足	50.7%	50.5%	↓
どちらかといえば不満	21.5%	20.7%	↓
不満である	2.5%	2.9%	↑
順位	5/36位	6/36位	↓

4. 社会潮流等の変化について（第2次総合計画策定時からの市民ニーズの環境の変化、法整備状況等）

・いじめや児童虐待等のこどもの人権問題やインターネット上の人権侵害、障がいのある人や外国人、性的マイノリティ等に対する差別や偏見、部落差別（同和問題）、ハンセン病問題といった様々な人権問題が依然として存在している。2023年（令和5年）には、新たに「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が施行。また、佐賀県においては「すべての佐賀県民が一人一人の人権を共に認め合い、支え合う社会づくりを進める条例」が制定された。

5. 施策を推進していく上での新たな課題、新たな視点

・学校、地域、家庭、職場、その他の様々な場を通じて、一人一人が人権に関する正しい知識と日常生活の中で生かされるような人権感覚を身に付ける取り組みが必要。

6. 施策の課題解決に向けた今後の取組の方向性・内容等

・共生社会の実現に向けて、人権について一層理解を深め、様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、自分自身のこととして考え、人権を尊重した行動がとれるような人権意識の高揚に努める。